

「今」と「未来」のために、今私たちができること [目標4] 質の高い教育をみんなに



「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が「自分のこと」として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

4 質の高い教育をみんなに



全国学力テスト

小学6年生と中学3年生を対象に行う

「全国学力・学習状況調査」

[秋田県]

調査を開始した平成19年度以降、全回トップクラス

令和3年度	小学校	国語	1位
		算数	6位
	中学校	国語	2位
		数学	3位

世界では、小学校に通えない子どもが約5,900万人、読み書きができない15歳以上の人は約7億5,000万人いるとされています。

日本では、ほとんどの子どもが小・中学校に通い、基本的な知識や技能を身に付けることができますが、経済的理由・家庭事情による教育格差や不登校など、改善すべき課題は少なくありません。また「生きる力」を育み、一人一人が能力を発揮できる、さらなる教育の質の向上も求められています。

「質の高い教育」の実現は、貧困や飢餓、ジェンダーなどさまざまな課題解決につながる重要な目標です。生まれた国や地域・家庭・性別などに関わらず、平等に教育を受けられる機会を提供していくことが、今を生きる私たちの責務です。

日常生活でできる取り組み

- 本や新聞を読む
- 講演会やセミナーなどに参加する

市の取り組み

- 「大仙教育メソッド」の推進
→地域活性化に貢献できる子どもの育成を目指し、地域などと連携した中学校区単位での取り組みを推進
- 学校生活支援事業
→学校生活支援員の配置などにより、安心して学べる教育環境づくりを推進
- 子ども・若者育成支援事業
→不登校や引きこもりなど、さまざまな事情を抱える子どもや若者が安心して生活できるようサポート